知的障がいの人を教えるということ

総合教育センター特別支援・相談課
主席　猪子秀太郎

今、思うこと

知的障がいの人を教えるという仕事は、
ひょっとしたら、教えた子どもたちよりも
自分の学びの方が大きかったかもしれない。
いや、きっとそうだ。
何がわからないのか？どうすればわかるのか？
そもそも「わかる」とは何か？
「意味」の意味は？など、
普通では考えないことを考えさせてくれたから。

自己紹介

- 特別支援学校教員35年（知的障がい、自閉症）
  板野支援、附属特別支援、国府支援、阿南支援
  県教育委員会、国立特別支援教育研究所など
- 勉強会マニア
  感覚統合法、ムーブメント、TEACCHプログラム、ABA
- 趣味（仕事より大事かも）
  ヴァイオリン、阿波踊り

「知的障がい」の特性と対応

教科書的な答え

- 知的障がいの定義
  知的機能の発達の遅れ　→IQ
  適応行動の困難性　→ADL、意思交換など
  発達期に起こる　→おおよそ18歳まで
- 学習上の特性と対応
  知識の断片化、般化・応用×
  →生活を通して具体的に学習
  成功体験の少なさ、意欲低下
  →達成できる課題設定、称賛、興味・関心
  抽象概念の形成困難
  →実際の生活を通した具体的な学習

「知的障がい」の特性と対応

個人的な感想

- 「何がわからないのか」が、わからない。
  「わかりましたか？」「わからない時は質問してね」
  →意味のない声かけです。
- 「わかる」「知っている」は喜び
  授業には既知のものを取り入れる。再認＝喜び
  考えたら…　わかった！　→　楽しく脳を使う訓練！！
  →「チラ見せ、部分見せ」などは、大事なテクニック
- この特性に応じた指導法の例「生活単元学習」
  ＝「テーマのある生活」
  興味のある既知のテーマで、学校生活を埋め尽くす。
  例：行事中心単元（校外学習、表現会、運動会など）

他に「日常生活の指導」「作業学習」「遊び」など

生活単元学習とは？　単元とは？

「単元」は以下を満たすべき

- 単元は、子どもの学校生活に「テーマ」を与えるものである。

テーマ　＝　子どもにとって面白く、意味あるもの

- 「今日、学校に行ったら、あの勉強をしている」
- 「このアイテムが出てきたら、あの勉強だ」わくわく

「生活単元学習で、今日に満足し、明日を楽しみに待つ生活」
「仲間や教師と共通のテーマを持ち、満足感・成就感を分かち合う生活」
小出進ら「実践子ども主体の生活単元学習」学研

千葉大学附属特別支援学校

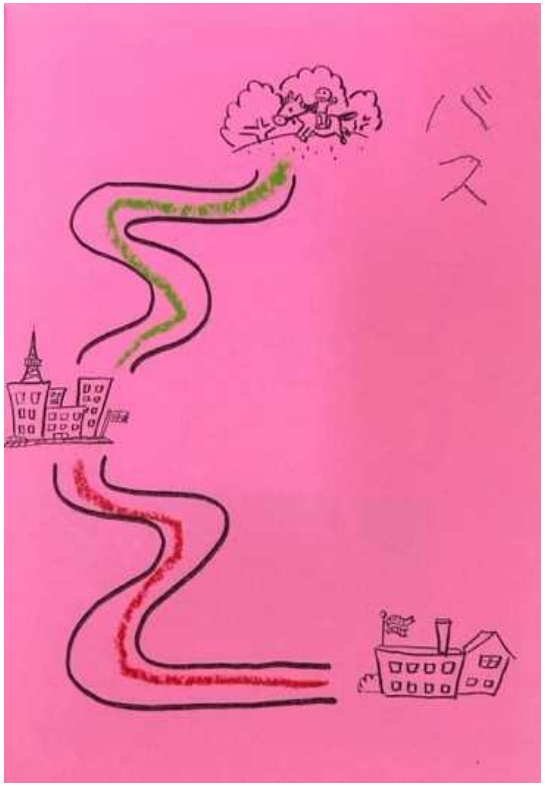
聖地

私は、偉大な先人にも聖地にも特に興味はありませんが、「生活単元学習」を作り上げてきたのは、そういった環境や歴史でした。

わたしの生活単元学習（1998、附属）

- 小5、6年生の複式学級、6名。
- 秋の修学旅行の「乗馬体験」を中心に
- 1年間のテーマに「馬」を設定
- とにかく馬にこだわる授業計画
  - 春のキャンプで乗馬、馬の歌を歌いまくる。
  - 毎日、休み時間にはメリーゴーランドの馬に子どもを乗せ、廊下を走り回る。
  - 秋、修学旅行で馬に乗る。
  - 冬、表現会の劇にも馬を出す。

「春の小3キャンプ」の写真をご覧下さい。


バス

'98

秋の修学旅行では…（ごめんなさい、写真がない）

- まず1学期の間に、無言語の小6女子が「うま、うま」と言い始める。
- 秋、公共交通機関を乗り継いで「神戸しあわせの村」へ
- 全員無事、馬に乗る。
  びびりのダウンちゃんは、ポニーに乗る。
  すぐ泣いたり、暴れたりする子も静かに乗れる。
- 後日談
  小6女子はビデオをすり切れるほど見て、母から再ダビングを所望される。
  卒業式で担任2名（両方とも男）が号泣する。

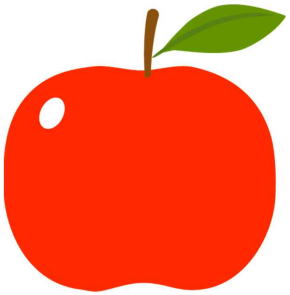
子どもの好子を授業に組み込む

- 好子とは？
  - 興味・関心の対象
  - 子どもが好んだり、欲しがったりする物や活動
- 好子のリストは武器。
  - 好子を探すことは武装　→　丸腰突撃では敗北
- ヒントを見て、受け持ちの子どもの好子を考えてみましょう。

好子を探すヒント	
食べ物、飲み物	暇な時にしていること
感覚刺激	社会的刺激（褒め言葉、笑顔など）
おもちゃ、遊び道具	こだわり、問題行動
遊び、したがる活動	トークン、お金
一緒にいたがる人	

教材にも好子を導入しよう

- 教材には、興味ある題材を取り上げる。
- 字を覚えるなら「りんご」より「美空ひばり」



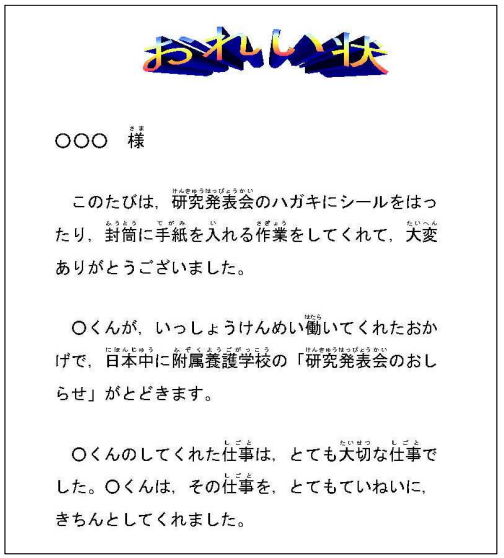
○○○

V.S.

○○○ ○○○

見習おう！
うんこ漢字ドリル

表彰状や感謝状をあげよう。



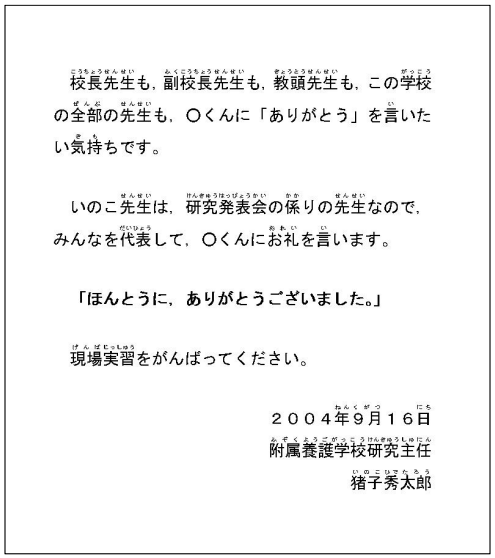
おれい状

○○○　様

このたびは，研究発表会のハガキにシールをはったり，封筒に手紙を入れる作業をしてくれて，大変ありがとうございました。

○くんが，いっしょうけんめい働いてくれたおかげで，日本中に附属養護学校の「研究発表会のおしらせ」がとどきます。

○くんのしてくれた仕事は，とても大切な仕事でした。○くんは，その仕事を，とてもていねいに，きちんとしてくれました。



校長先生も，副校長先生も，教頭先生も，この学校の全部の先生も，○くんに「ありがとう」を言いたい気持ちです。

いのこ先生は，研究発表会の係りの先生なので，みんなを代表して，○くんにお礼を言います。

「ほんとうに，ありがとうございました。」

現場実習をがんばってください。

２００４年９月１６日
附属養護学校研究主任
猪子秀太郎

自閉症について

- 自閉症児の35～40％が、知的障がいを重複

- 重複の考え方が大切
  - 昔は「知的障がいで、自閉症」
  - 今は「自閉症で、知的障がい」

    教育的対応は、自閉症の障がい特性を優先
    →落ち着いた生活を確保し、知的障がいに対応

  - 転換の契機

    研究開発「自閉症の指導プログラムの開発」H13～15
    鳴門教育大学附属特別支援学校
    自立活動「人間関係の形成」の基礎研究

知的障がいと自閉症の対比

- 知的障がい

  わからない。
  覚えられない。
  自信がない。
  とりあえず「はい、わかりました」

あくまで
おおざっぱな
個人の感想です。

- 自閉症

  違ったようにわかる。
  覚えるのは得意、でも変えられない。
  「なぜ、わかってくれないのか」と思っている。
  パニック、混乱

特別に優れた才能

その人の中の「幸せ」が描かせる絵

果たして自分は子ども達に「幸せ」を感じさせられただろうか？

知的障がいの教育課程の特徴と課題

- 指導内容・方法の選択は教員に委ねられている。
  - 非常に自由度が高い、というか丸投げ
    - 仕方ない面もあるが…
  - H29「特別支援学校学習指導要領」から詳しくなった。
    - 今後、活用が進むことを期待
- 経験値の少ない教員はとても大変
  - 「何を教えたらいいんですか?」→「見て盗め」
  - 教科書があればいいのに…

皆様の今後に期待いたします。